

重点活動 (継続)

～民生文教常任委員会～

1 高齢者福祉に関する課題について



社会福祉士
こだま ゆきひろ
児玉幸弘氏



「ケアラー支援条例について」こだま社会福祉士事務所 児玉幸弘氏を迎えて（9月3日）

課題 ヤングケアラーなど、介護する人の負担が大きく、またその現状は表面にあらわれにくい。

対策 ケアラーへ配慮する気持ちを町民みんなが共有する必要がある、ケアラー支援条例を検討する。



関東自動車(株)
東北営業推進室長
おおわ こういち
大輪洪一氏



公共交通の利便性についての意見交換(8月27日)

2 公共交通の利便性の向上について

課題 きゅーびー号の運行は現在終了しているが、観光への影響が懸念される。

対策 きゅーびー号の再運行や、町民バスの複合利用など 利便性の高い交通網と効率的な運営を模索する。



たんぼぼクラブ[黒田原小放課後児童クラブ]と意見交換(9月2日)

3 総合的な学校運営について

課題 学童クラブの運営は保護者会が行っているが、コロナ対策なども含め苦慮している。

対策 すぐに行える支援と数年かけて検討すべき運営の移行を協議する。



こここクラブ[高久小放課後児童クラブ]と意見交換(9月16日)

課題 不登校問題はさまざまな要素が絡み合い、顕在化されないケースも多い。

対策 総合的な支援が必要になることから、不登校に関する条例の先行事例を調査、制定を検討する。